

# 第1学年〇組 英語科学習指導案

令和元年 〇〇月〇〇日(〇) 6時限  
授業場所 1年〇組 教室  
在籍生徒数 〇組 30名  
授業者 教諭 松田 洋一 (1組)

1. 単元名(題材名) BIG BIPPER (数研出版) Program 8 "From Child to Adult: When do you change?"
2. 題材について

## (1) 教材観

本単元は「大人になること」について、part 1では、「自分は大人になっているか」、part2では「法律から見る大人の定義」、part3では「大人の年齢を引き下げるべきか」、part4では「精神的に大人になるのは何歳か」という4つのテーマで述べている。日本語でも難しい考え方であるが、時間をかけて深めつつ、自分の考えを自分の言葉で発信させたい。

## (2) 生徒観

本学級の生徒は、元気があり表現力が豊かな生徒が多い。授業も意欲的に取り組んでいる。4技能の中では、リスニング、リーディングに課題が多いが、スピーキング、ライティング面では自分の考えを自分の言葉で述べようと努力している。2学期にすでに実施したパフォーマンステストでは学んだことを実行に移し、1学期より大きく成長した生徒が多い。教員、生徒間の対話を多くして教科書内容の理解を深めさせたい。

生徒のコミュニケーション能力(4技能)の現状	
①話すこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の内容について、1分~1分半程度で、<b>Keywords</b>をつかって再現できる。</li><li>・1対1の場面で、ゆっくり話されれば、教科書の内容に関する質問に適切に答えることができるが、時折主語と動詞が抜けてしまうことがある。</li></ul>
②書くこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・ホスト役・登場人物役になって原稿を見ずに、聴衆の前で意見交換ができる。</li><li>・<b>&lt;英語表現&gt;</b> 与えられた状況に応じて、学んだ文法事項を活用しながら、30語程度の文を書くことができる。</li></ul>
③聞くこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・繰り返し話されれば、教師の英語での指示を理解し、指示通りに動くことができる。</li><li>・3回程度繰り返し聞けば、110語程度の易しめの英語の、内容イメージを持つことができる。</li><li>・4回程度繰り返し聞けば、110語程度の易しめの英語の内容を日本語で、簡単にまとめることができる。</li><li>・ゆっくりと話されれば、1対1の場面で、本文に関する内容を踏まえた質問を、大方理解することができる。</li></ul>
④読むこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の易しめの内容を、<u>3分半程度</u>で読み、英語でパラグラフチャートを作ることができる。</li><li>・教科書の易しめ内容を、3分半程度で、センスグループを考えながら、読むことができる。</li><li>・教科書の易しめ内容を、3分半程度で読み、(問題の) 質問に答えることができる。</li></ul>

### (3) 指導観

教科書の内容について、本校の特色である「各パートを3時間かけてじっくり扱う」ことで、教科書のストーリーをじっくり覚えさせ、充実したアウトプット活動を行う。特にスピーキングテストなどのアウトプット活動では、教科書の情報を問う”Fact Finding”の質問だけでなく、教科書の内容を用いて、「自分の考え」を問う、もう一步踏み込んだアウトプット活動を行う。また、このような活動は本単元のみで行うのではなく、年間を通し、繰り返し行っていくことで、生徒の自発的な学習を促していく。

コミュニケーション英語の授業では生徒個々の活動が中心である。さまざまなアクティビティを通して教科書本文を何度も深く読み込み、内容を頭に刷り込ませ、頭の中にある情報をもとにアウトプットを行う。

### (4) 研究テーマ「生徒の発信力強化に向けた英語指導力向上」について

秩父高校では「教科書の扱うレッスンを半分に削減し、削減で生まれた時間を使って、扱うレッスンのアウトプット活動にあてる」という指導を、学年の教員の共通認識のもと行っている。その中で、「教科書の内容を自分の言葉で説明する」Retelling 活動（毎 part）や ALT とのスピーキングテスト（毎 Part）、また各学期1回、「教科書に出てくる登場人物に対して、インタビューをする」TV ショー形式のパフォーマンステスト（毎学期）を行っている。このようなアウトプット活動を年間で複数回行っていることで、生徒の自発的な学習を促しつつ、生徒の発信力の強化を図っている。（別資料：「秩父高校の授業について」参照）

特に ALT とのスピーキングテストでは生徒に”Feedback Sheet”を用いて生徒へのフィードバックを毎回行っている。このような、学年全体で共通認識のもと、パッケージ化された取り組み全体で、生徒の発信力を強化していくことができると考える。

秩父高校 1 学年 学習到達目標 （秩父高校 Can-do リストより抜粋）

<1 学年到達目標>

- 話すこと
  - ✓ 聞いたり読んだりした内容について、Keywords 等の補助を用いて、2 分程度で再現できる
  - ✓ ある程度時間を与えられれば、1 対 1 の場面で、本文の内容を踏まえ、自身でその場で考え、複数の質問を相手にすることができる。
  - ✓ ホスト役、登場人物役になって、原稿を見ずに聴衆の前で意見交換ができる。また、その場で即興で質問し、答えることができる。
- 書くこと
  - ✓ 聞いたり読んだりした内容を、Keywords を使って、80 語程度でまとめることができる。
  - ✓ <英語表現 I> 与えられた状況に応じて、学んだ文法事項を活用しながら、40 語程度の文を書くことができる。
- 聞くこと
  - ✓ 教師の英語での指示を理解し、指示通りに動くことができる。
  - ✓ 110 語程度のやや難しめの英語を、3 回程度聞き、パラグラフチャートを作ることができる。
  - ✓ 110 語程度のやや難しめの英語を聞き、本文の内容を日本語で、簡単にまとめることができる。
  - ✓ 考える時間を与えられれば、1 対 1 の場面で、本文の内容について、相手にインタビューをし、返答を理解し、さらに返答することができる。
- 読むこと
  - ✓ 事前に新出単語の導入があれば、110 語程度のやや難しめの英語を、2 分半程度で読み、英語でパ

ラグラフチャートを完成することができる。

- ✓ 事前に新出単語の導入があれば、110語程度のやや難しめの英語を、2分半程度で読み、センスグループを考えながら読むことができる。
- ✓ 事前に新出単語の導入があれば、110語程度のやや難しめの英語を、2分半程度で読み、質問（問題）に答えることができる。

### 3. 単元の目標

- ・ペアワークやスピーキングテストにおいて、積極的にコミュニケーションを続ける。
- ・教科書の内容について、その内容を1分半程度で再現することができる。
- ・教科書を意味のまとまりに注意しながら、読むことができる。
- ・スピーキングテストにおいて、教科書の内容を踏まえた質問を理解し、適切に返答することができる。

### 4. 単元の評価基準

(ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	(イ) 外国語表現の能力	(ウ) 外国語理解の能力	(エ) 言語や文化についての知識・理解
① 積極的な発表アウトプット活動の中で積極的に英語でコミュニケーションを続けようとしている ② リスニング活動などで積極的に聴き取ろうとしている。	① 本文の内容を <b>Keywords</b> を使いながら再現することができる。 ② スピーキングテストにおいて、本文の内容を踏まえた質問に適切に答えることができる。	① 決められた時間内で本文を読み取り、理解することができる。 ② スピーキングテストにおいて、本文の内容を踏まえた質問に適切に答えることができる。	① 人の性格をあらわす単語を理解できる。 ② 世界の国々の成人年齢の違いを知っている。 ③ 「成人年齢の引き下げ」について、メリットとデメリットを理解している。

### 5. 単元の指導計画（16時間扱い、Part3のみでは4時間）

時間	主な学習のねらい	主な学習活動	評価規準との関連	評価方法等
1	Part 1 Part 2 それぞれ3時間構成（スピーキングテストを含めると、4時間）			
...				
9	Part 3 ① Input 1 ・教科書の内容の大まかな内容把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ New Words Check 新出単語の導入</li> <li>・ Paragraph Chart 本文要約（英語）の穴埋め</li> <li>・ Sentence Ordering 音声を聞きながらの文の並べ替え</li> <li>・ Word Listening 本文のディクテーション</li> <li>・ Reading Comprehension 本文要約（日本語）の穴埋め</li> </ul>	ア① ア② ウ① エ③	観察
10	Part 3 ② Output 1	・ Word Check Test	ア①	観察

	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のさらなる内容把握</li> <li>音読練習</li> </ul>	新出単語のテスト <ul style="list-style-type: none"> <li>Paragraph Chart 本文要約（英語）の穴埋め</li> <li>English Question 英語の質問に、英語で答える</li> <li>Vocabulary Scanning 本文内の表現の書き出し</li> <li>Slash Reading 日本語訳をもとに、英語文にスラッシュをひく</li> <li>Read Aloud 本文の音読</li> </ul>	ア② ウ① エ③	
1 1	Part 3 ③ Output 2 <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読</li> <li>教科書の内容を踏まえたアウトプット活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dictation Test 本文のディクテーションテスト</li> <li>Read Aloud 本文の音読</li> <li>Retelling 本文のリテリング</li> </ul>	ア① イ① エ③	観察 成果物
1 2	Part 3 ④ Speaking Test (一人2分) <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の一部の音読</li> <li>内容に関する質問</li> <li>内容を踏まえた質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読テスト</li> <li>本文に関する質問2問</li> <li>発展的な質問1問</li> </ul>	イ② ウ② エ③	パフォーマンス
...	Part 4 3時間構成（スピーキングテストを含めると、4時間）			
1 6				

## 6. 本時の学習

### (1) 本時のねらい

<1年1組> **output 1**

- 本文の内容を、様々な活動を通して理解することができる。【読むこと】【聞くこと】
- 教科書本文を、英語の発音に気を付けながら音読することができる。【読むこと】【話すこと】

### (2) 評価規準

<1年1組>

- 積極的な発表アウトプット活動の中で、積極的に英語でコミュニケーションを続けようとしている

【関心・意欲・態度】

- リスニング活動などで積極的に聴き取ろうとしている。【関心・意欲・態度】
- 決められた時間内で本文を読み取り、理解することができる【外国語理解の能力】
- 「成人年齢の引き下げ」について、メリットとデメリットを理解している。【知識・理解】

### (3) 教材・教具

ワークシート WS 教科書 T 音声プレイヤー P

## (4) 本時の展開

	学習活動	生徒の活動	・活動の目的 ○教師の働きかけ	評価 評価方法	備考
5分	Review	・キーワードを使って Part1&2 の Retelling。	・今までのストーリーを思い出させ、内容のつながりを意識させる。 ○生徒との対話を意識し、既習内容を思い出させる。	ア① 観察 イ① 観察	
5分	単語テスト	・WS の新出単語の日本語訳を英語に直す。	・新出単語の確認 ○前回学んだ新出単語を、家庭学習で覚えてこさせる		WS
7分	Paragraph Chart	・教科書を見ながら、本文の要約表（英語）の穴埋めをする。 ・ペアで読み合わせ、答え合わせをする。	・教科書の概要を把握する。前回の授業でも同様の活動を行っているので、前回の授業の復習にもなる。	ウ① 観察 エ③ 観察	WS T
7分	English Questions	・ワークシートにある質問の答えを、教科書の中から探し、該当箇所の下線を引く ・ペアと、インタビュー形式で答え合わせをする。	・教科書の内容をより深く理解する。複数回読み返すことでより本文の内容を頭に刷り込ませる。 ○難しい質問も入っているので、状況に応じて質問のヒントを教師から英語で与える。 ○質問に答える際は、主語・動詞をつけるよう指導する。	ア① 観察 ウ① 観察	WS T
13分	Vocabulary Scanning	・ワークシートの日本語部分に該当する表現を抜き出す。 ・ペアで答え合わせをする	・教科書をよりミクロの視点で読み込む。本文の細かい意味をとらえながら、より細かい表現に視点を当てる。	ウ① 観察	WS T
5分	Slash Reading	・ワークシートの日本語訳をもとに、英文にスラッシュをひく。 ・全体でスラッシュごとに読み合わせ、答え合わせをする。	・本文を意味のまとまりでとらえさせる。 ○ここで初めて日本語訳を与えるが、ここまでさまざまな活動をしているので、深く扱わない。	ウ① 観察	WS
8分	Read Aloud	・さまざまな形で音読をする	・繰り返し音読を行う。 ・競争読み		WS